議事(2)資料

○家庭系燃やせるごみの現状と課題

近年の傾向として、家庭ごみ総排出量は減少傾向にあるものの、燃やせるごみについては、他のごみに比べて減少ペースが鈍化しており、令和７年度実績においては前年度の排出量を上回る結果となった。

ごみ減量化に取り組む際のターゲットとして最も効果的なものは、家庭系ごみの約７割を占める燃やせるごみである。

【家庭系燃やせるごみの課題】

・排出削減すべき「食品ロス」　本来ごみとして排出されるべきでないもの

・再資源化すべき「古紙」　適正に分別し資源物として排出すべきもの

○家庭系燃やせるごみの減量化に向けた取り組み

【現在の取り組みについて】

・環境館を活用した啓発
（食品ロス削減講座、ダンボールコンポスト講座等）

・広報、ホームページ、ケーブルテレビ等でのごみに関する情報発信
（食品ロス削減や雑がみ袋の普及啓発）

・しゅうなん出前トークやクリーンリーダー研修会での啓発
（家庭系燃やせるごみの課題と減量方法について説明）

・生ごみ処理機器の購入費補助

・ごみダイエット標語

【今後の取り組みについて】

市民の意識をさらに高めるための効果的な啓発を行う。